

スクールヘルスリーダー派遣事業

現 状

- 子どもの保健室利用者数が増大
- 心身の健康問題の多様化により特別な配慮・医療機関等との連携を必要とする子どもの増加などから、養護教諭の一人配置校では、きめ細かな対応が困難
- 養護教諭未配置校の存在



中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会 学校健康・安全部会（H19.5.18～）

- 心身の健康問題の多様化に伴い地域の関係機関等との連携を図るコーディネーターの役割を担う必要性
- 経験豊かな退職養護教諭の知見を活用した、現職養護教諭の育成及び支援体制の充実

退職養護教諭の活用



都道府県レベル連絡協議会の開催

- ・指導内容の共通理解
- ・収集した現状・課題の検討

スクールヘルスリーダー（退職養護教諭）の派遣

【内容】退職養護教諭を

- ・経験の浅い養護教諭の1人配置校
- ・養護教諭の未配置校

へ派遣

（指導例）メンタルヘルスなど多様化した健康課題、保健室登校など個別の対応が求められる子どもへの対応方法や保健室経営などに関する助言、校内研修会の講師 等

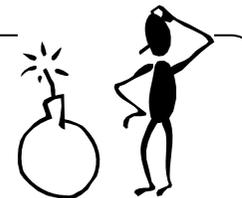


子どもたちが抱える現代的健康課題に対応

心のケア対策推進事業

子どもの健康を取り巻く状況の多様化・深刻化

- ・都市化、少子高齢化、情報化などによる社会環境や生活環境の急激な変化
- ・生活習慣の乱れ、いじめ・不登校などのメンタルヘルスに関する問題



一般の教員による日々の健康観察の必要性

教員向け啓発資料の作成、配布

内 容:健康観察によって心身の変化を早期発見するための着眼点、
優良事例/基礎資料/Q&A 等
配布先:全市区町村および小・中・高等学校
(各学校5部)



シンポジウムの開催

子どもの心の健康に関する問題の増加を踏まえ、養護教諭、
臨床心理士を対象としたシンポジウムの開催



多様化する心身の健康問題への早期対応